

	学校 だ よ り	令和6年1月9日	
	ときめきにあふれ、個性が光り合う、 あったかい学校づくり	NO. 35	

明けましておめでとうございます。 「尽己(じんこ)」 やるか、やらないかが大切！

明けましておめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、昨年引き続き本校教育活動に対して深いご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

さて、2024年の幕開けに伴い、1、2年生は部活動、3年生は補習や学習の診断等、いち早く学校生活を始動しています。この新たなスタートに際して、昨年の侍ジャパンを率いたWBC優勝監督である栗山英樹氏の座右の銘の1つである「尽己」の2文字が、新たな決意として頭に浮かびました。

「何が起ころうとも目の前の物事にすべてを尽くす、自分のできることをやり切る」という意味の言葉です。つまり、「できるか、できないかではなく、やるか、やらないかが大切なんだ！」という栗山氏の普段の行動規範となっている言葉であり、アメリカとのWBC決勝戦にも強く意識したものだそうです。子どもたちにも「尽己」の決意をもって、これから待ち構えているたくさんの山をしっかりと乗り越えてほしいです。



3年生への合格祈願！「オクトパスだるま」

図書館司書の大西心先生より、自作の大中縁起物「オクトパスだるま」が3年生一人ひとりに贈られました。タコを英語で「オクトパス(置くどパス)」。この縁起物をそばに置く合格(パス)するという合格祈願の贈り物です。このオクトパスだるまは、受験だけでなく、生きていく上でためになる言葉が書かれた本を持っており、だるまの目も入れることができます。

大西先生が1つ1つに心を込め、時間をかけて作ってくれました。図書室からも3年生の頑張りを熱く・熱く・熱く願っています。3年生の皆さん、不安が募る時期かもしれませんが、気持ちを強く持ち、みんなで励まし合いながら乗り越えてください。

